

犬吠埼周辺清掃・見学会

藤身 隆雄
2月19日(日)
午前9時より、
銚子ジオパーク推進市民の会とナルク銚子合同で、犬吠埼周辺の海岸清掃を実施しました。当日は前日の春を思わせるような暖かさが一転、真冬の寒さに逆戻り、冷たい北風が吹く中3名が参加しました。今までには、



草などで狭くなり歩きづらいので、剪定ばさみや鋸を使って通行しやすくしました。清掃後の午前10時から、犬吠埼周辺の無料ガイドを実施しました。次々とお客様が来られ、30余名の方を銚子ジオパークの公認ガイドがご案内しました。東京から17名、茨城7名、埼玉2名、福島2名、千葉多数と県外の方が多く見えられガイドのご案内に満足していました。

3月は19日(日)午前9時より犬岩周辺を予定しています。

黒潮とつながる地域
黒潮ネットワーク(銚子、伊豆大島、伊豆半島、室戸、南紀熊野、土佐清水、桜島、錦江湾、三島村、鬼界カルデラ)の第4回南紀熊野ジオパークフェスティバルに参加しました。

11日は朝7時過ぎに家を出て春秋航空で関空着、それから串本のホテルに着いたのは18時30分で夕食はファミレスに行きました。

講演のあとのミニジオツアーは会場から歩いて30分、ガイドの説明を受けながら虫喰岩に行きました。虫食い岩は20mの岩壁に大小さまざまの穴があいています。奥には沢山の滝があると聞きました。最後に最南端の潮の岬へ。ちなみに最東端の岬は宮古市のトドケ崎だそうですが、

その後那智の滝へ向かいます。入口の手前には熊野古道への敷石の道が人を誘うように奥に向かっています。那智滝は133m高さ水量とともに日本一です。奥には沢

うに穏やかで美しく津波対策も施され、車道からは海は常に視界にあり海岸線を堪能することができます。

2日目は前々日の朝、宿から遠くに見た橋杭岩は観光客で賑わっています。大小の岩が850mも連続して並んでおり石英斑岩が貫入して侵食により硬いマグマがかたまった岩が杭状に残されたそうです。ちょうど引き潮で岩を手で触れることができました。直線状に並んでいるのは見事です。

保主 得造

第4回南紀熊野ジオフェスティバル

寒すゝめ すゞめ言葉で 身を寄せて
風よりも 一足先に 春の潮

さな子供達は床に座つて熱心に見ていました。午後からの基調講演はユネスコジオパーク評議員の渡辺真人氏の「ジオパークを楽しもう」で現在世界の国々にジオパークが増えていることや地域の土地の歴史を知り住んでいる人とのかかわりを学ぶのもジオパークの楽しみだそうです。

その後那智の滝へ向かいます。入口の手前には熊野古道への敷石の道が人を誘うように奥に向かっています。那智滝は133m高さ水量とともに日本一です。奥には沢山の滝があると聞きました。最後に最南端の潮の岬へ。ちなみに最東端の岬は宮古市のトドケ崎だそうですが、それから古座川弧状岩脈をたどって1枚岩まで車

台の君ヶ浜方面を対象にしていました。それが、千葉県がショベルカーなどを使って流木や漂流物等を拾いきれいになつていきましたので、反対の南側の遊歩道を対象にゴミを拾いました。晓鶴館の下くらいまでゴミを拾つて歩く人もいました。

もう一ヵ所は、有料老人ホームから君ヶ浜に降りる階段が雜

フェア1日目は古座川町の体育館に割り当てられた交流ブースにPR写真とキャベツの紙芝居やアンモナイトやサメの歯のレプリカ作りを行いました。レプリカ作りは人気で大人も子供も楽しんできました。紙芝居は小

さな子供達は床に座つて熱心に見ていました。

午後からの基調講演はユネスコジオパーク評議員の渡辺真人氏の「ジオ

パークを楽しもう」で現

在世界の国々にジオパー

クが増えていることや地

域の土地の歴史を知り住

んでいる人とのかかわり

を学ぶのもジオパークの

楽しみだそうです。

その後那智の滝へ向か

います。入口の手

前には熊野古道へ

の敷石の道が人を

誘うように奥に向

かっています。那

智滝は133m高さ

水量とともに日本

一です。奥には沢

山の滝があると聞

きました。最後に

最南端の潮の岬へ。

ちなみに最東端の岬は宮古市の

トドケ崎だそうですが、

それから古座川弧状岩脈をたどつて1枚岩まで車

をたどつて1枚岩まで車

をたどつて1枚岩まで車